

令和5年12月末の交通事故の特徴

発生件数	20,173件	(+305件)
死者数	103人	(+28人)
負傷者数	25,699人	(+414人)
飲酒事故	87件	(-4件)

【発生件数】～微増

- 歩行者関連事故、子供関連事故及び1当高齢運転者による交通事故は、約1割増加
- 高齢者関連事故は、微増
- 人对車両の事故は2,300件(+160件)と増加
- 車両相互の事故は、追突が7,202件(-14件)、出会い頭が4,778件(+116件)の順に発生
- 登下校中の交通事故による子供の負傷者数(歩行中又は自転車乗用中に限る。)は、約1割減少
- 1当高齢運転者による交通事故は4,837件(+243件)と増加

【死者数】～約4割増加

- 高齢者の交通事故死者数は62人(+18人)で、全死者の約6割
- 1当高齢運転者による交通事故死者は41人(+18人)で、約8割増加
- 歩行中死者は43人(+9人)で、全死者の約4割。うち33人(+9人)が高齢者で歩行中死者の約8割
- 福岡地区及び北九州地区の高齢者の死者が増加
- 4時から8時までの間で24人(+12人)と大幅に増加。うち12人(+5人)が高齢者
- 18時から22時までの間で29人(+13人)と大幅に増加。うち21人(+13人)が高齢者

【飲酒運転事故関係】～微減

- 高濃度アルコール保有者が約8割
- 飲酒運転による交通事故死者は6人(+3人)

注 ()の数值は、前年比